



ポーランド ワルシャワ大学

発展著しい中東欧・ ポーランドでの留学

学部時代、当時所属していた国際基督教大学(ICU)の交換留学制度を利用して、2022年2月から7月にかけてポーランド共和国のワルシャワ大学政治・国際関係学部に留学していました。

留学の動機と現地の魅力

至極単純にも、「自発的には旅行先に選ばない国へ行きたい」というのが当初の動機でした。新規の協定先として目に映った「ポーランド」は、とても新鮮であったことをいまでも覚えています。交換留学が内定してからは、かつて欧州最大規模のユダヤ・コミュニティがあり、多くのシオニストが育った国を体感したいという動機も生じました。

実際には、ポピュリズム論やポーランドの統治構造を学ぶとともにポーランド語の授業も受講し、現地の友人たちとの交友を温めることで「いまの」ポーランドを知ることが多くありました。授業でお世話になった先生や友人たちとは、いまでも交流が続いています。



クウォツコに架かる橋と筆者[著者撮影]

ポーランドの魅力は大都市よりも、むしろ中小都市や村落にあります。とくに記憶に残っているのは、友人と2人で南西部のドルヌィ・シロンスク県を巡った旅です。プラハのカレル橋と同じ様式ながら、より古い橋の架かるクウォツコ(Kłodzko)。温泉が湧き、ポーランドの地元客で溢れる保養地のポラニツァ・ズドゥルイ(Polanica-Zdrój)や世界遺産の「平和教会」があるシュフィドニツァ(Świdnica)など、都市としては小粒ながらも大都会にはない魅力ある街が、ポーランドにあることを体感した旅でした。



旧王宮前広場に展示される鹵獲戦車[著者撮影]

ワルシャワ大学について

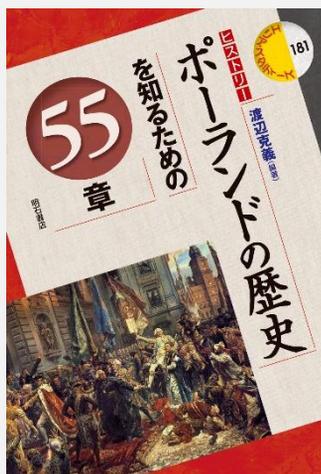
中東欧にあるポーランドは、民主化から40年に満たない、経済発展による躍動感に溢れる国家です。その首都にあるワルシャワ大学は、ポーランド国内屈指の総合大学として1816年に設立されました。私が学んでいた市内中心地にあるメイン・キャンパスのほか、市内に2つのキャンパスがあります。とくに20世紀初頭に設立された東洋学部日本学科は、欧州随一の日本研究の拠点として知られています。



ワルシャワ新市街を展望する[著者撮影]

出典: University of Warsaw, History, <https://en.uw.edu.pl/about-university/history/>, last visited May 22, 2025

オ ス ス メ の 一 冊



ポーランドの歴史を知るための55章

渡辺克義編著（明石書店，2020年）

【請求記号】2340:488

各国を知るための足がかりとして定評ある明石書店の「エリア・スタディーズ」シリーズの1冊。地域で強大な勢力を築いたことも、地図上から消されることもあるポーランドを俯瞰するのに最適な書です。本書を読んでから渡航されると、より一層ポーランドを楽しめると思います。

執 筆 者 紹 介

高橋篤史

法学研究科／博士後期
課程1年

趣味：映画祭に行くこと

所属団体：日本・イスラエル・パレスチナ
学生会議

